2018年3月期 決算説明会資料



株式会社オープンドア (証券コード: 3926)



- 1. ハイライト
- 2. 2018年3月期 業績概要
- 3. 2018年3月期 主な取組み
- 4. 2019年3月期 業績予想
- 5. 2019年3月期 主な取組み予定
- 6. 参考資料



- 1. ハイライト
- 2. 2018年3月期 業績概要
- 3. 2018年3月期 主な取組み
- 4. 2019年3月期 業績予想
- 5. 2019年3月期 主な取組み予定
- 6. 参考資料

ハイライト



■ 2018年3月期 実績

- · 売上高 4,009百万円(前期比+ 33.8%)、営業利益 1,155百万円(前期比+ 15.6%)
- ・売上・利益ともに過去最高を更新
- ・売上高は大幅な増収を達成
- ・テレビCM費用(約10億円)を吸収し、前期を上回る営業利益を達成
- ・2018年3月期目標の認知率25%に対し、2018年2月調査で認知率30%を達成

■ 2019年3月期 計画

- ・2019年3月期においても引き続き「認知率」を最重要とし、テレビCM等により認知率37%を目標
- ・広告は投資効果を見極めながら実施することを想定し、広告予算としては10億円~15億円の幅を もたせている。広告予算を踏まえ、売上高及び各段階利益は幅を持たせた設定
- · 売上高 4,800~5,000百万円(前期比+ 19.7~+ 24.7%)、営業利益 1,300~1,600百万円 (前期比+ 12.5 ~+ 38.5%)

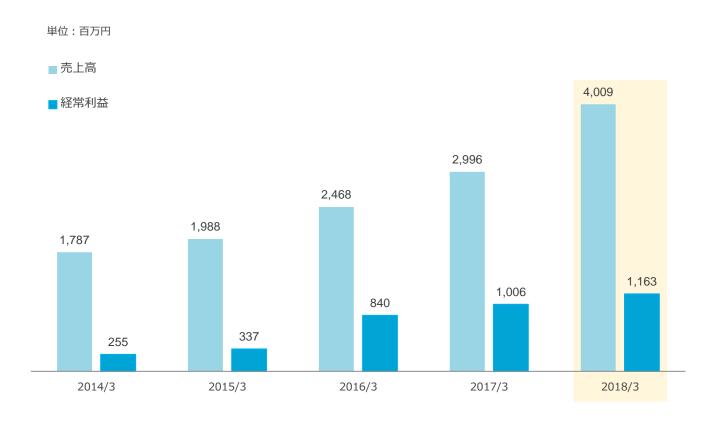


- 1. ハイライト
- 2. 2018年3月期 業績概要
- 3. 2018年3月期 主な取組み
- 4. 2019年3月期 業績予想
- 5. 2019年3月期 主な取組み予定
- 6. 参考資料

2018年3月期 業績概要 / 業績推移



● 売上・利益ともに過去最高を更新



2018年3月期 業績概要 / 損益計算書



- 2018年3月14日に通期業績予想の修正を発表。業績予想に関してはレンジ開示としていたが、予想レンジの上限に近い水準に修正。最終的には修正後の業績予想の通り着地
- 売上高は大幅な増収を達成(前期比+33.8%)
- テレビCM費用(約10億円)を吸収し、前期を上回る営業利益を達成(前期比+15.6%)

	単位	江:百2	万円							2018/3	20	18/3	
					2017/3 実績	2018/3 実績	増減額	前期比	計画比	通期修正予想 ※	通期期		
売		上		高	2,996	4,009	+1,012	+33.8%	+0.2%	4,000	3,700	~	4,000
	売	上	原	価	540	585	+44	+8.2%	+0.9%	580	680	~	680
売	上	総	利	益	2,455	3,424	+968	+39.4%	+0.1%	3,420	3,020	~	3,320
Д	反 売 費 及	えび-	一般管	理費	1,456	2,268	+812	+55.8%	-0.1%	2,270	1,820	~	2,520
営	業		利	益	999	1,155	+156	+15.6%	+0.5%	1,150	800	~	1,200
経	常		利	益	1,006	1,163	+157	+15.7%	+1.2%	1,150	800	~	1,200
当	期	純	利	益	632	756	+123	+19.6%	+9.7%	690	480	~	720

※2018年3月14日公表の修正予想

※※2017年5月12日公表の期初予想

2018年3月期 業績概要 / 四半期業績推移



- 2017年3月期は、3 Q以降に主要メニューで課金モデルを従量課金へ移行させた効果により、売上トレンドは 4 Q→2 Q→3 Q→1 Qと推移したが、2018年3月期は通常の売上トレンド同様、2 Q→4 Q→3 Q→1 Qと推移
- 全ての四半期で前年同期を上回る売上高を達成





- 1. ハイライト
- 2. 2018年3月期 業績概要
- 3. 2018年3月期 主な取組み
- 4. 2019年3月期 業績予想
- 5. 2019年3月期 主な取組み予定
- 6. 参考資料

2018年3月期 主な取組み



- 全国主要都市に拡大しテレビCMを継続
- 人気の旅行サイトから航空会社、宿泊施設の公式サイト予約システムまで積極的なシステム連携を継続
- 人気都市のプロのクチコミをトラベルコがランキング「トラベルコまとめ」をリリース
- トラベルコ新サービス「海外Wi-Fiレンタル」比較をリリース
- 多言語旅行比較サイト「Travelko」で台湾の大手旅行会社 Lion Travel との連携により、台湾のホテル宿泊プランが充実

テレビCM

・新CM放送開始! 東名阪から全国主要都市展開へ

新規連携

- ·Viator(海外オプション)
- ・CROOZ (国内航空券)
- ・ダイナテック(国内ホテル) など多数

サービス

- ・プロのクチコミをランキング 「トラベルコまとめ」
- ・「海外Wi-Fiレンタル」 比較をリリース
- ・主要メニューをアプリ化

Travelko

・台湾最大手の旅行会社 Lion Travel との連携を開始











2018年3月期 主な取組み / テレビCM実施による認知率

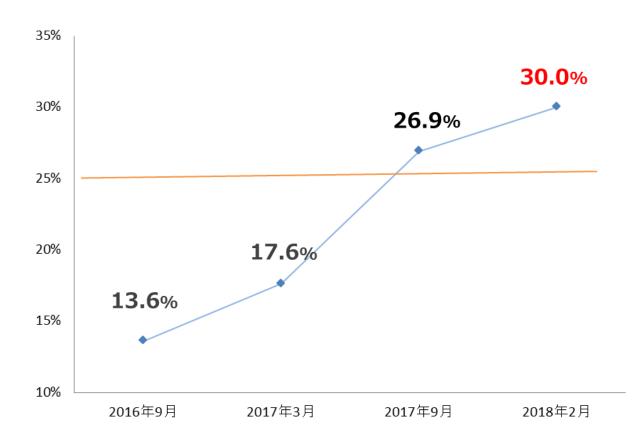


●通期目標の認知率25%に対し2018年2月調査で認知率 30% 達成!!









出典:オープンドア自社調査 (2018年2月)

調査対象:全国の18-59歳男女10,000サンプルから国内外問わず、プライベート

もしくはビジネス目的で宿泊を伴った旅行に行ったことがある方



- 1. ハイライト
- 2. 2018年3月期 業績概要
- 3. 2018年3月期 主な取組み
- 4. 2019年3月期 業績予想
- 5. 2019年3月期 主な取組み予定
- 6. 参考資料

2019年3月期 業績予想 / 損益計算書



- 2019年3月期においても引き続き「認知率」を最重要とし、テレビCM等により認知率37%を目標とする
- 広告は投資効果を見極めながら実施することを想定し、広告予算としては10億円~15億円の幅をもたせている。広告予算を 踏まえ、売上高及び各段階利益は幅を持たせた設定としている

単位:百万円				2018/3								
						実績 通期予想		増減	額	前期比		
売		上		高	4,009	4,800	~	5,000	+790 ~	+990	+19.7%	~ +24.7%
	売	上	原	価	585	600	~	600	+14 ~	+14	+2.5%	- +2.5%
売	上	総	利	益	3,424	4,200	~	4,400	+775 ~	+975	+22.7%	~ +28.5%
則	反売 費 🏻	及び-	一般管	理費	2,268	2,600	~	3,100	+331 ~	+831	+14.6%	- +36.6%
営	業		利	益	1,155	1,300	~	1,600	+144 ~	+444	+12.5%	~ +38.5%
	営	業	外 損	益	8	0	~	0	-8 ~	-8	- /	· -
経	常		利	益	1,163	1,300	~	1,600	+136 ~	+436	+11.7%	~ +37.5%
	特	別	損	益	28	0	~	0	-28 ~	-28	- /	· -
当	期	純	利	益	756	780	~	960	+23 ~	+203	+3.1%	~ +26.9%



- 1. ハイライト
- 2. 2018年3月期 業績概要
- 3. 2018年3月期 主な取組み
- 4. 2019年3月期 業績予想
- 5. 2019年3月期 主な取組み予定
- 6. 参考資料

13

2019年3月期 主な取組み予定 / トラベルコ

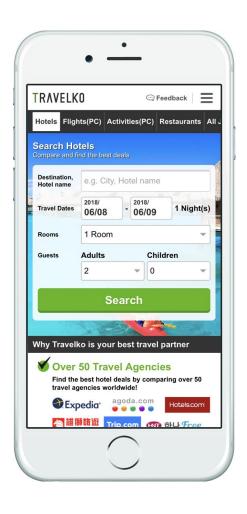




- テレビCMによる認知率の向上
- 既存メニューの強化
- 列車ダイナミックパッケージ (新幹線+ホテル・旅館)横断比較サービス
- 高速バス・夜行バスメニューのリニューアル
- プロのクチコミをトラベルコがランキング 「トラベルコまとめ」掲載都市数の拡大
- ユーザーによるクチコミ・評価サービス構築
- 民泊プラン横断比較サービス

2019年3月期 主な取組み予定 / TRAVELKO





- 現地大手サイトの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェース ローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOオープン
- インバウンド情報サイトに対するシステム提供



- 1. ハイライト
- 2. 2018年3月期 業績概要
- 3. 2018年3月期 主な取組み
- 4. 2019年3月期 業績予想
- 5. 2019年3月期 主な取組み予定
- 6. 参考資料

16

2018年3月期 売上原価・販管費及び一般管理費の主な内訳



● テレビCM含むマス広告を実施した結果、広告宣伝費が増加

	単位:百万円	2017/3 実績	売上比	2018/ 3 実績	増減額	前期比	売上比
	売上原価	540	18.0%	585	+44	+8.2%	14.6%
	労 務 費	356	11.9%	392	+36	+10.1%	9.8%
	その他	184	6.2%	192	+8	+4.5%	4.8%
則	反売費及び一般管理費	1,456	48.6%	2,268	+812	+55.8%	56.6%
	人 件 費	697	23.3%	693	-4	-0.6%	17.3%
	広告宣伝費	367	12.3%	1,101	+733	+199.3%	27.5%
	その他	390	13.0%	474	+83	+21.3%	11.8%

2018年3月期 貸借対照表



● 業績は順調に推移しており、純資産が増加(+793百万円)

単位:百万円						2017/3末 実績		2018/3末 実績	増減額
		流重	协資産			3,5	91	4,299	+707
	現	金	及 び	· 預	金	2,9	93	3,549	+556
	そ		の		他	5	98	749	+151
		固定	官資産			4	58	684	+225
		資產	音合計			4,0	50	4,984	+933
						I			
		流重	負債			7	'02	768	+65
		固定	官負債	į			2	76	+74
		負債	青合計			7	04	844	+139
		純資	産合詞	†		3,3	45	4,139	+793
	資		本		金	6	48	648	-
	資	本	剰	余	金	4	75	474	-1
	利	益	剰	余	金	2,2	36	2,993	+756
	そ		の		他	-	14	23	+38
	負債純資産合計					4,0	50	4,984	+933

2018年3月期 キャッシュ・フロー計算書



● 現金及び現金同等物は通期で5.8億円増加し、35.7億円に

単位:百万円	2017/3 実績	2018/3 実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	+600	+687	税引前当期純利益1,192百万円 法人税等の支払-419百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	-158	-103	_
財務活動によるキャッシュ・フロー	+6	+1	_
現金及び現金同等物に係る換算差額	+0	+0	_
現金及び現金同等物の増減額	+448	+586	_
現金及び現金同等物の期首残高	2,544	2,993	_
現金及び現金同等物の期末残高	2,993	3,579	<u> </u>

会社概要(2018年3月末時点)



会社名 株式会社オープンドア

設立 1997年4月

代表者 代表取締役社長 関根 大介

資本金 648百万円

上場取引所 東京証券取引所市場第一部(証券コード:3926)

旅行比較サイト「トラベルコ」 事業内容 多言語旅行比較サイト「Travelko」

伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営

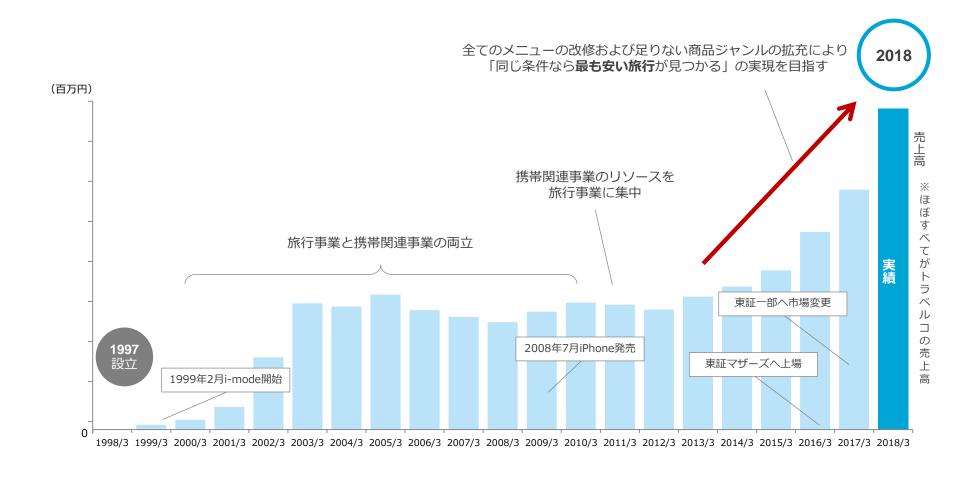
連結子会社 ホテルスキップ株式会社 出資比率100%

海外・国内ホテル / 海外航空券の予約・手配・販売

従業員数 連結158名

これまでの歩みと売上高の推移





当社サービス / 旅行比較サイト「トラベルコ」



500以上の予約サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト

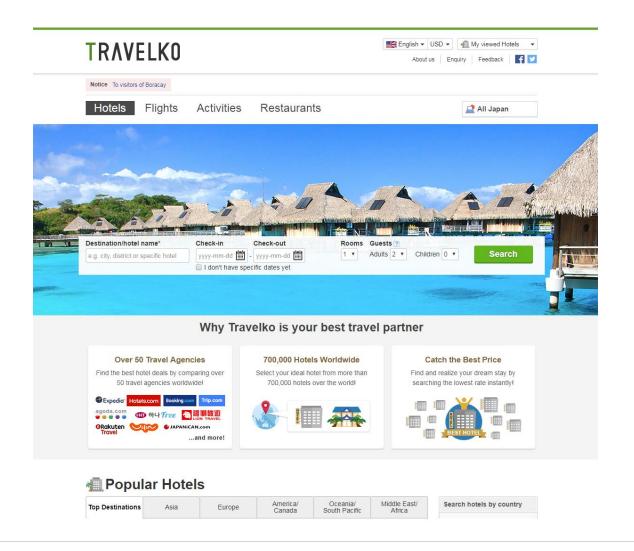


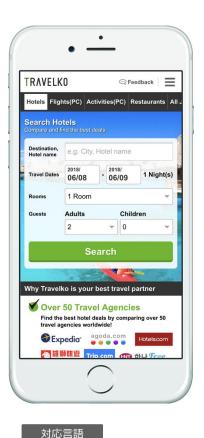


当社サービス / 多言語旅行比較サイト「TRAVELKO」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ



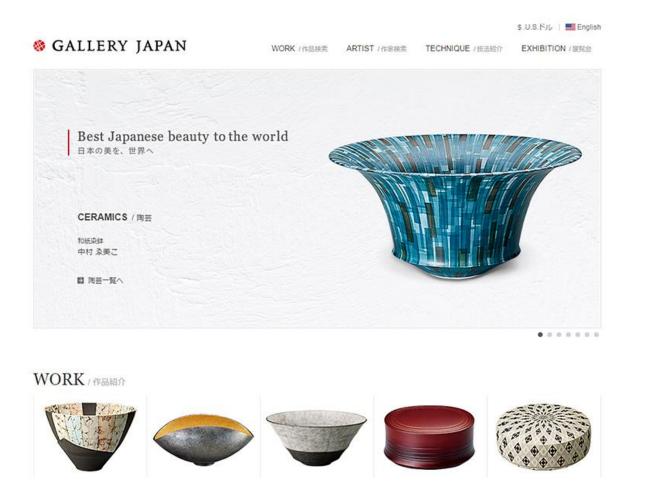


英語 中国簡体字 繁体字(台湾) 繁体字(香港) 韓国語

当社サービス / 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした"伝統工芸作品"を世界へ紹介するサイト



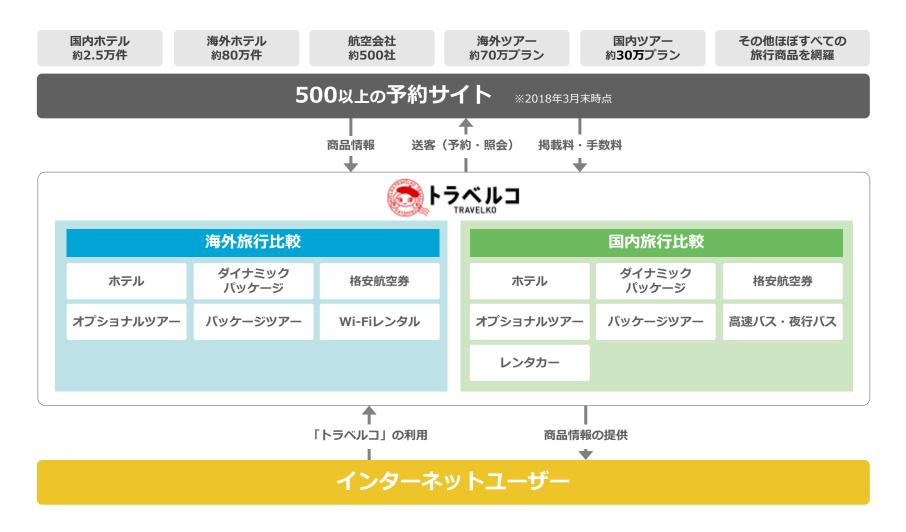




トラベルコ / ビジネスモデル



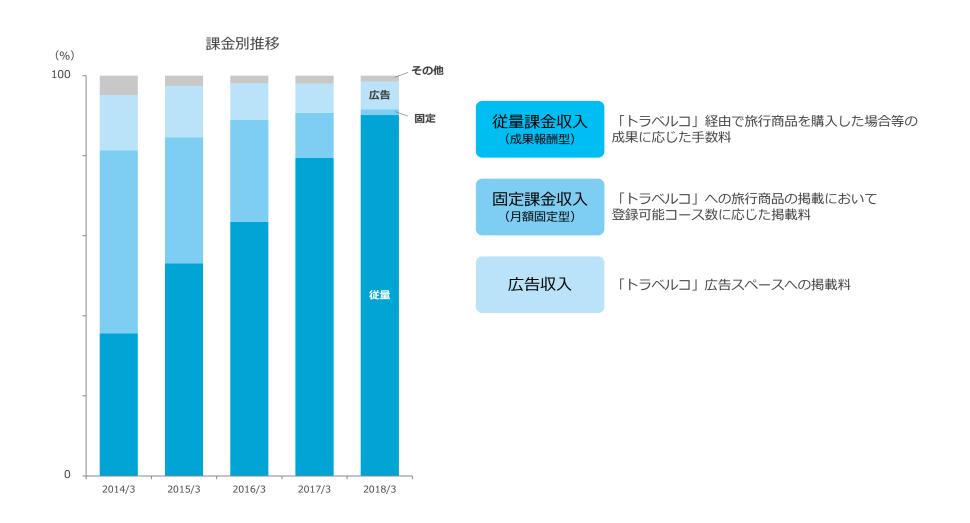
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



トラベルコ / 収益モデル



固定課金から成果に応じた従量課金にシフト

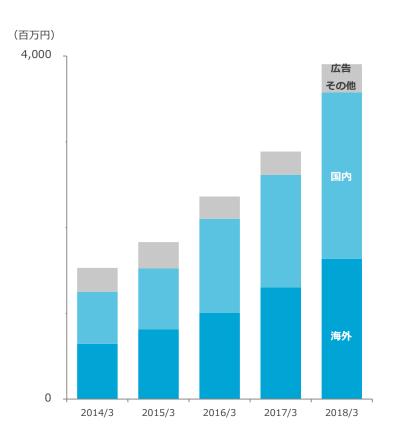


トラベルコ / 海外・国内売上高比率推移



海外・国内ともに伸長・リスクバランスの取れた売上高構成

海外・国内別売上高比率推移



海外or国内の人気の変化、テロ等の突発的事象による 市場のトレンド変化にも柔軟に対応

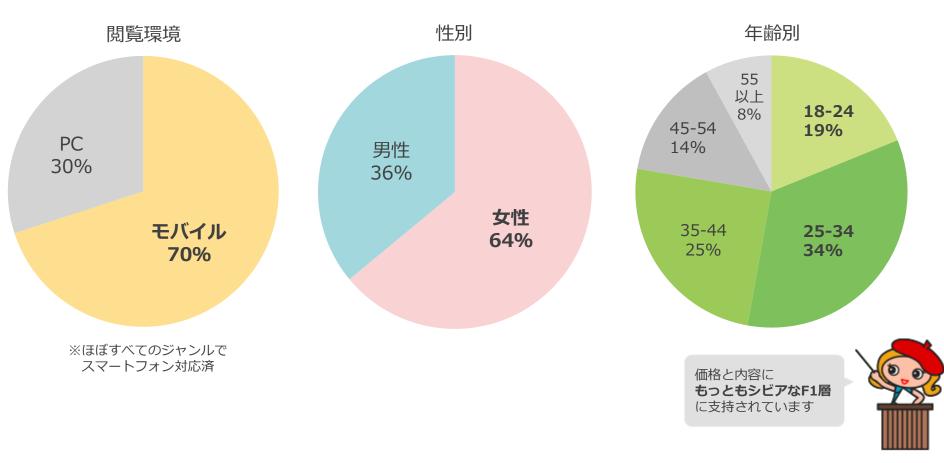
為替変動にも強い構成

トラベルコ / ユーザー属性



ユーザー層は価格と内容にシビアなF1層(20~34歳の女性)が多いのが特徴

ユーザー属性※1



※1 2017/4-2018/3までの当社アクセス解析データ

トラベルコの強み・特徴サマリー①



多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか?

1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、オプショナルツアー、レンタカー、夜行バス、海外Wi-Fiレンタルなど。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

	海外旅行比較	
ホテル	ダイナミック パッケージ	格安航空券
オプショナルツアー	パッケージツアー	Wi-Fiレンタル

国内旅行比較									
ホテル	ダイナミック パッケージ	格安航空券							
オプショナルツアー	パッケージツアー	高速バス・夜行バス							
レンタカー									

2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合が多いのです。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急トラベル JR東海ツアーズ DeNAトラベル 近畿日本ツーリスト 日本旅行 H.I.S 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANAセールス 西鉄旅行 名鉄観光サービス 旅工房

楽天トラベル 一休 るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com Hotels.com

エボラブルアジア Spring Japan スカイチケット スターフライヤー AIRDO

…500社以上の旅行サイト

トラベルコの強み・特徴サマリー②



なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか?

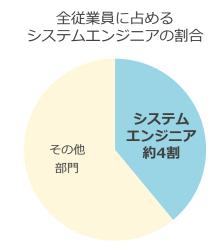
ほぼ全てのシステム開発を内製化

これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、60名強のシステムエンジニアが日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いています。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全ての進化を支える開発体制が実現できています。

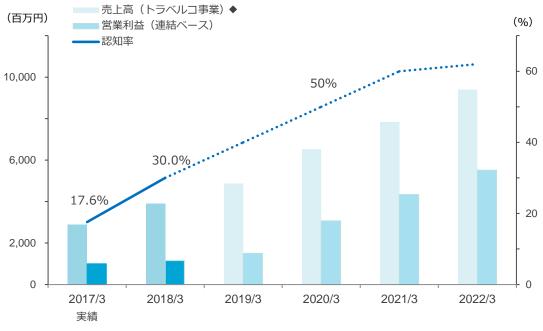
この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。



トラベルコ事業の中期成長イメージ



- 旅行業界におけるトップブランドの認知率は約70%であり、トラベルコは2020年3月期を目途に50%を目指す
- 売上に直接的に寄与するUUの上昇は、認知率に加えメジャーブランドとしてのイメージの定着率に比例すると考えられるため、 売上については認知率上昇カーブに遅れて連動し、成長すると予想
 - ※マス広告についてはメジャー感を維持するため、継続投資するものとして想定
 - ※※売上が認知率と比例して成長するためには上記に加え商品の価格競争力も重要であるが、これについては当社の強みであり今後も維持できるものと想定



- ◆現在、売上のほぼ全てはトラベルコ事業のため
- ◆◆グラフはトレンドイメージ

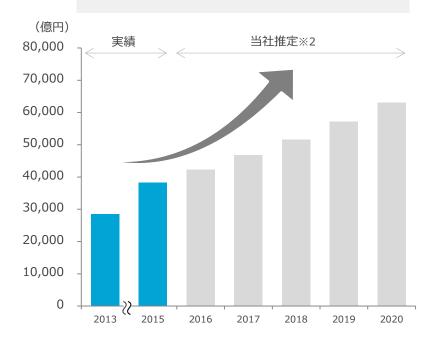
市場環境認識



旅行のオンライン市場・インバウンド市場の成長は続く見通し

旅行のオンライン市場規模

旅行の総市場規模:9兆7千億円 ※1 オンライン市場規模:**3兆8千億円**(2015年)※1 年平均**十15%**成長※1



% 1 フォーカスライトJAPAN「日本のオンライン旅行市場調査 第 3 版」より抜粋 % 2 年平均+ 10%で成長すると仮定

成長するインバウンド市場





※3 日本政府観光局 (JNTO) 訪日外客数より抜粋

※4「明日の日本を支える観光ビジョン」議事録より抜粋

中長期成長イメージ



グローバル市場でユーザー選択肢のNo.1となるサイトを目指す



本資料の取り扱いについて



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計 原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



株式会社オープンドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、 下記までお願いいたします。

株式会社オープンドア 管理本部

ホームページ: https://www.opendoor.co.jp

35